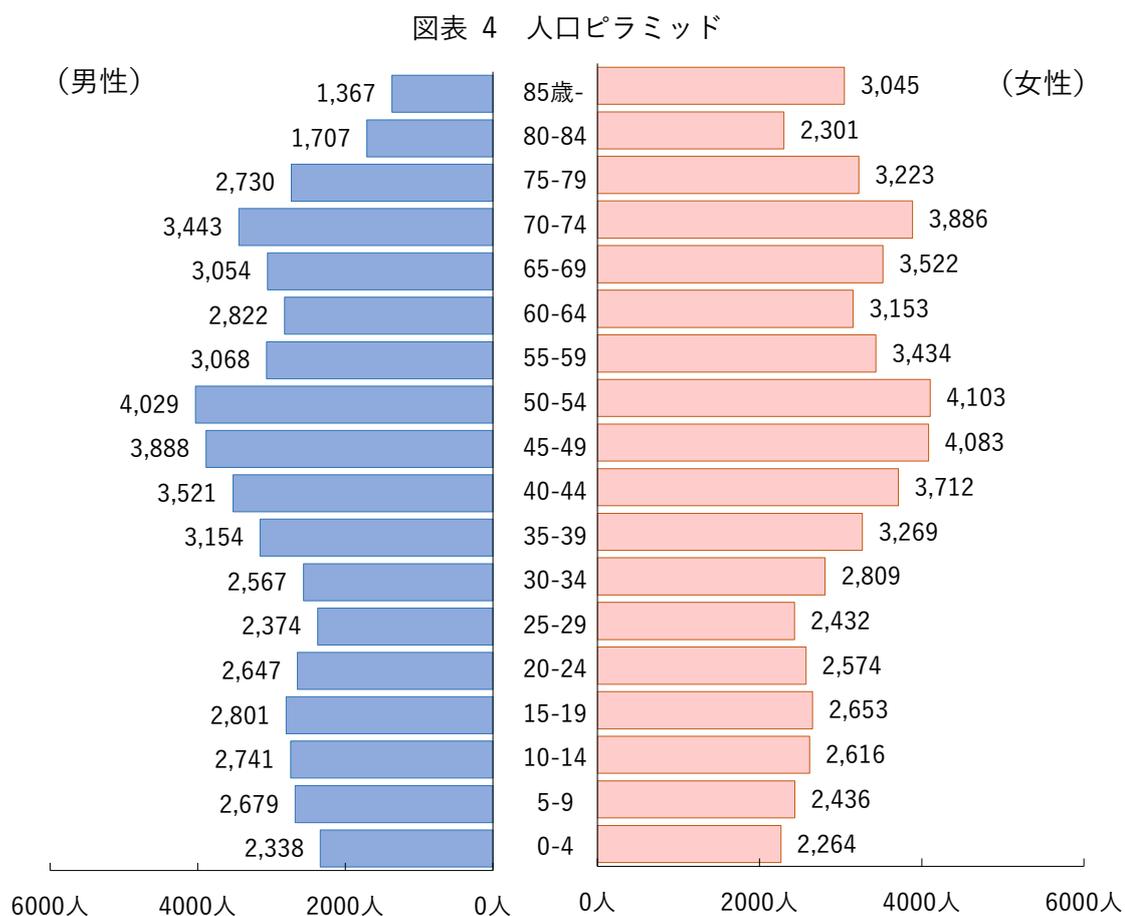


## 第2章 統計から見える筑紫野市の現状

### 1. 人口ピラミッド

本市の総人口は令和5年度末現在で106,445人であり、そのうち65歳以上の高齢者が28,278人、高齢化率は26.6%となっています（図表4）。年齢階層別に見ると、男女ともに50歳～54歳の人口が最も多くなっています。



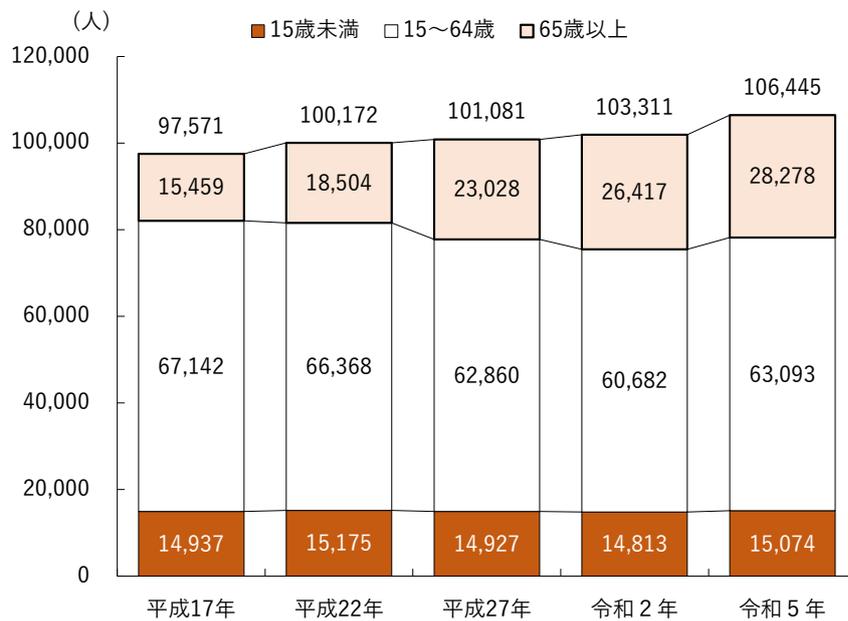
資料：住民基本台帳（令和5年度末現在）

## 2. 人口の推移

本市の人口の推移を見てみると、総人口は一貫して増加傾向にあります（図表 5）。内訳を見ると、15～64 歳である生産年齢人口は平成 17 年では 67,142 人であったのに対し、令和 5 年では 63,093 人まで減少しています。一方で、65 歳以上の老年人口は年々増加していることが分かります。

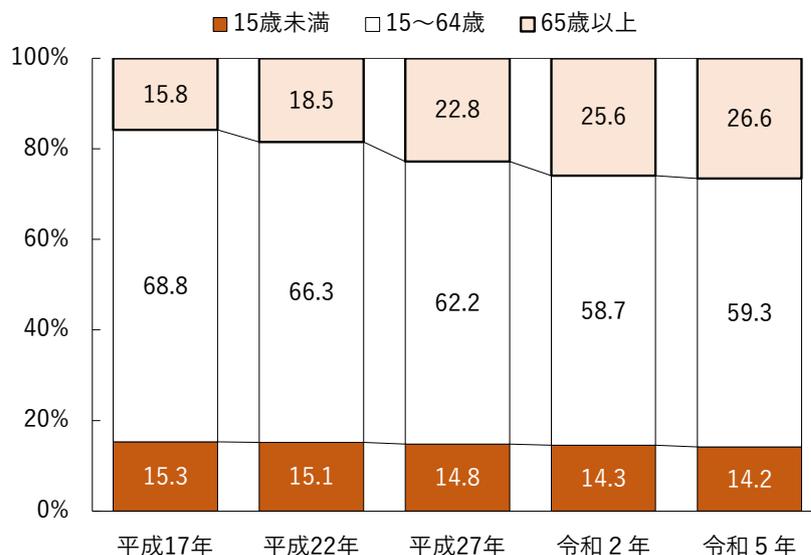
年齢 3 区分別の人口割合を見ると、徐々に少子高齢化は進行しており、平成 17 年から令和 5 年までの期間で高齢化率は 10.8 ポイント上昇しています（図表 6）。

図表 5 年齢 3 区分の人口推移



資料：国勢調査、令和 5 年度は住民基本台帳（令和 5 年 10 月 1 日現在）

図表 6 年齢 3 区分の人口割合

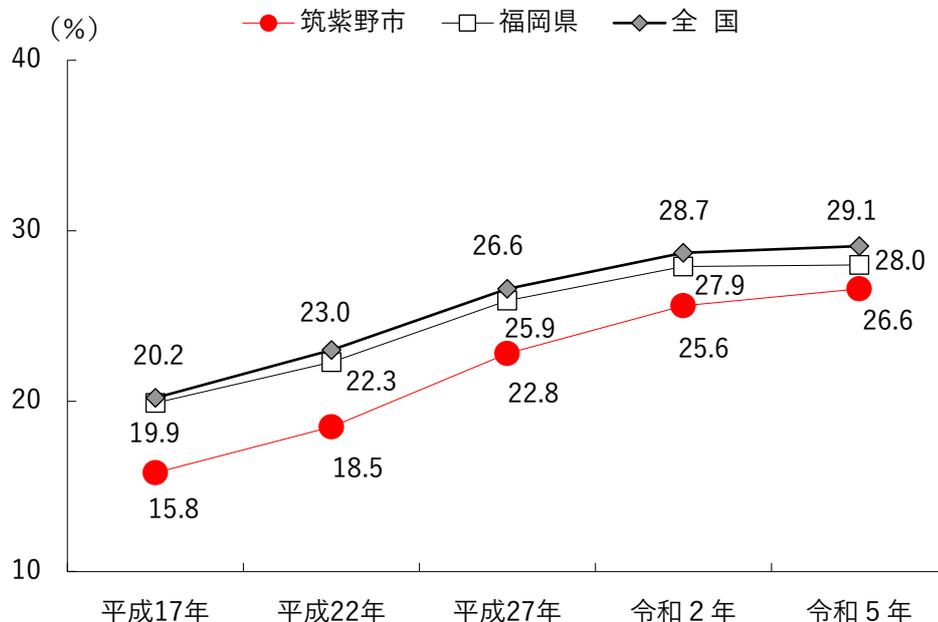


資料：国勢調査、令和 5 年度は住民基本台帳（令和 5 年 10 月 1 日現在）

### 3. 高齢化率の推移

本市の高齢化率は、平成17年以降から令和5年まで国、県と比較して低く推移しています(図表7)。

図表7 高齢化率の推移



資料：国勢調査、令和5年度のデータは以下のとおり  
 国：令和6年版高齢者白書（令和5年10月1日現在）  
 県：福岡県ホームページ（令和5年10月1日現在）  
 市：住民基本台帳（令和5年10月1日現在）

(参考) 筑紫地域の高齢化率

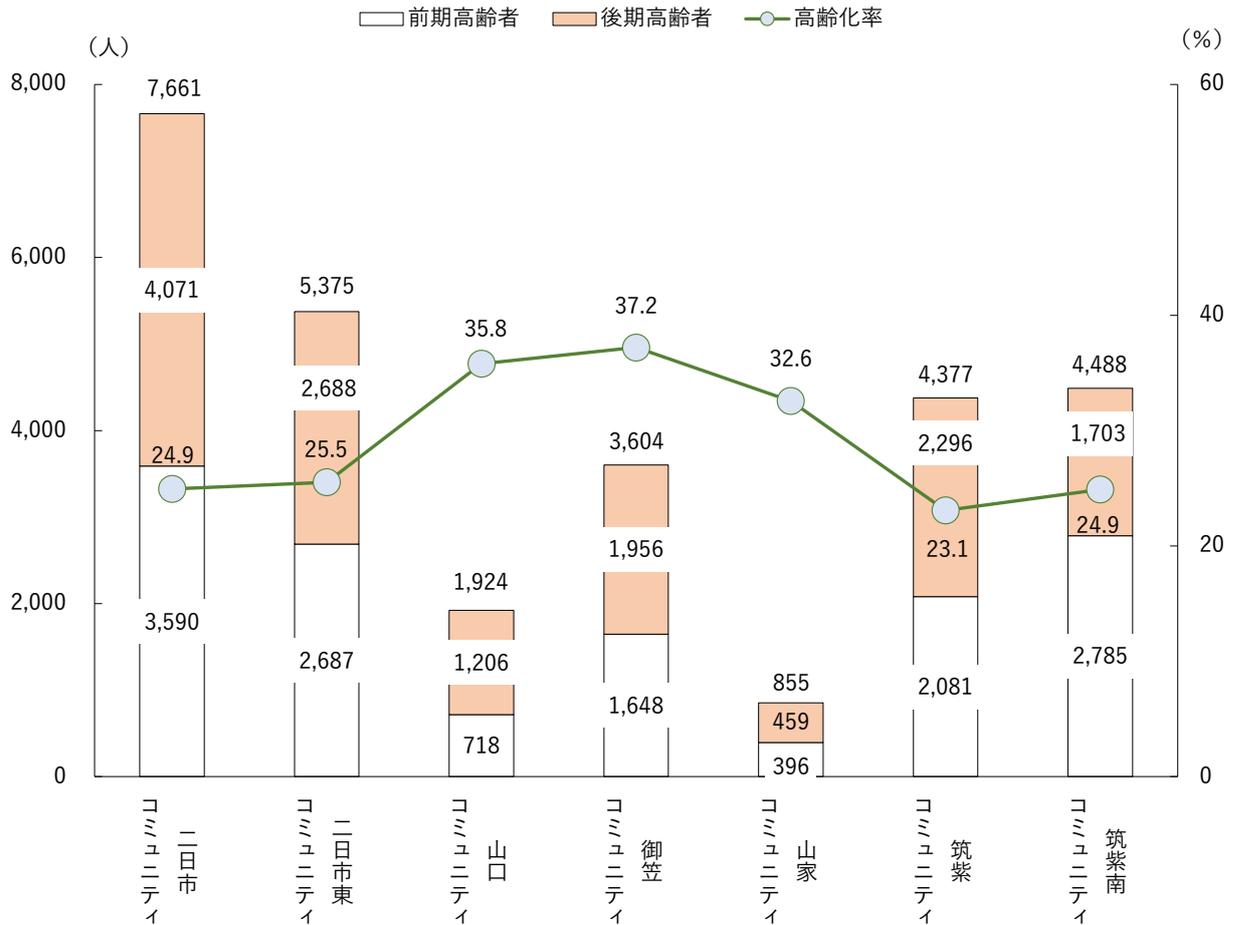
筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	那珂川市
26.2%	23.2%	22.3%	28.2%	24.5%

資料：住民基本台帳（令和5年4月1日現在）

## 4. コミュニティ別高齢化率

コミュニティ別に高齢化の状況を見ると、御笠コミュニティの高齢化率は37.2%となっており、高齢化率が最も低い筑紫コミュニティ（23.1%）と比較して14.1ポイントの差があることが分かります（図表8）。

図表8 コミュニティ別高齢者人口及び高齢化率



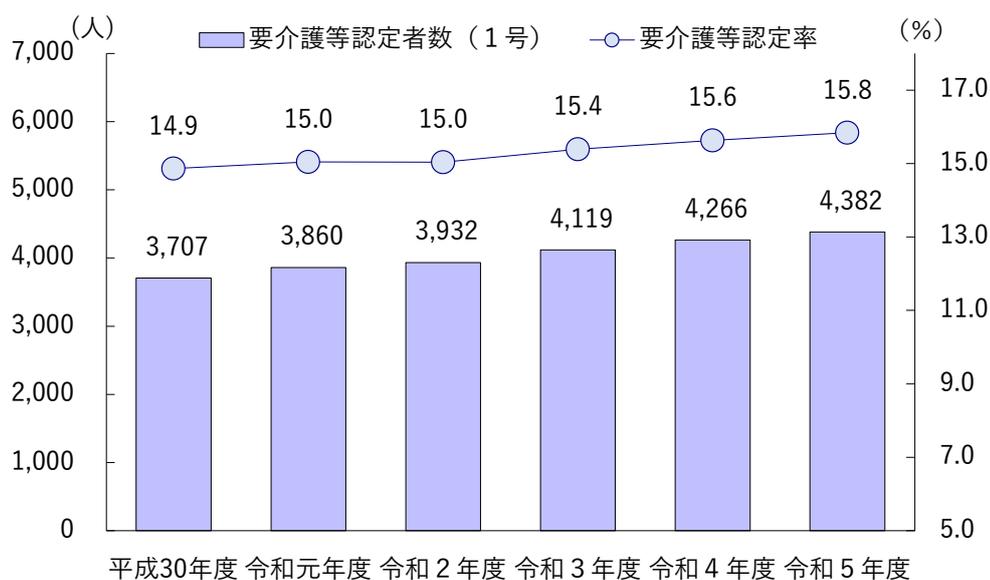
資料：住民基本台帳（令和5年度末現在）

## 5. 要介護者の増加

本市における65歳以上の要介護認定者数及び要介護認定率（第1号被保険者数に対する要介護認定者数の割合）の推移を見ると、要介護認定者数は平成30年度以降、増加傾向にあります。また、要介護認定率も年々上昇傾向にあります（図表9）。

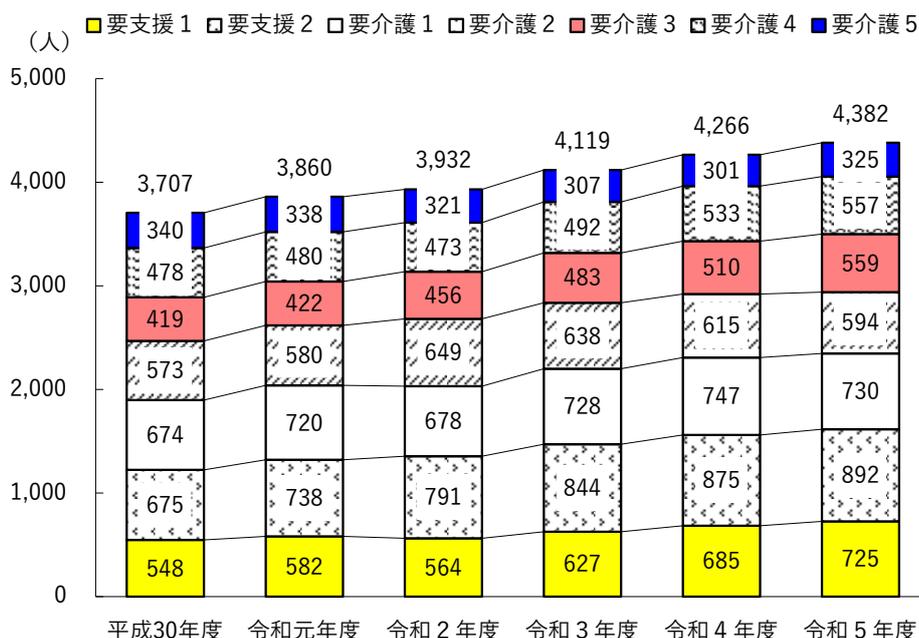
要介護度別の認定者数の推移をみると、年度によって多少の増減はありますが平成30年度と令和5年度を比較すると「要介護5」以外はすべて増加しています（図表10）。

図表9 要介護等認定者\*数及び要介護等認定率の推移



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（月報）（各年3月末現在）

図表10 要介護度別認定者数の推移



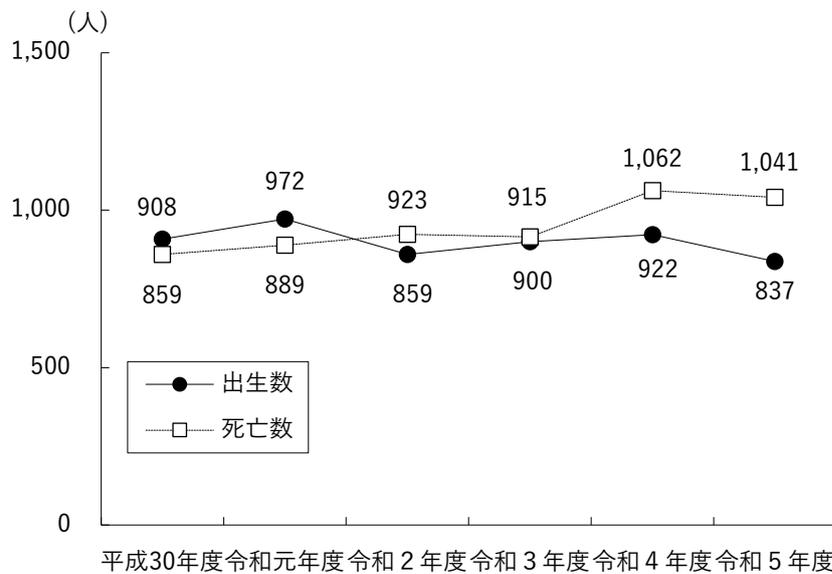
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（月報）（各年3月末現在）

## 6. 自然動態及び社会動態

本市の出生数は、年度によって多少の増減はあるものの減少傾向にあり、令和5年度は837人となっています。一方、死亡数は年度ごとに多少違いはありますが、増加傾向にあり、令和2年度以降は死亡数が出生数を上回っています（図表11）。

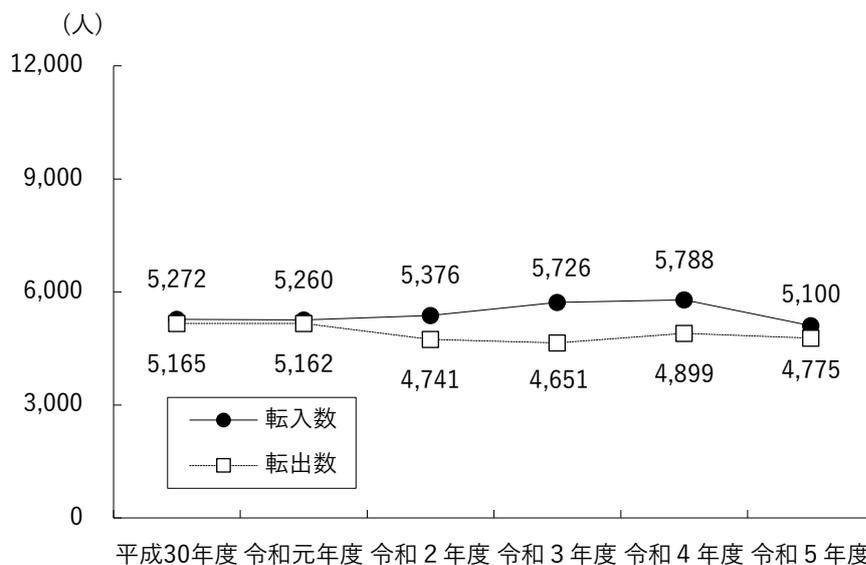
転入と転出に関しては、令和5年度では減少しているものの、一貫して転入数が転出数を上回っていることが分かります（図表12）。

図表11 出生数及び死亡数の推移



資料：住民基本台帳（各年度10月1日現在）

図表12 転入数及び転出数の推移

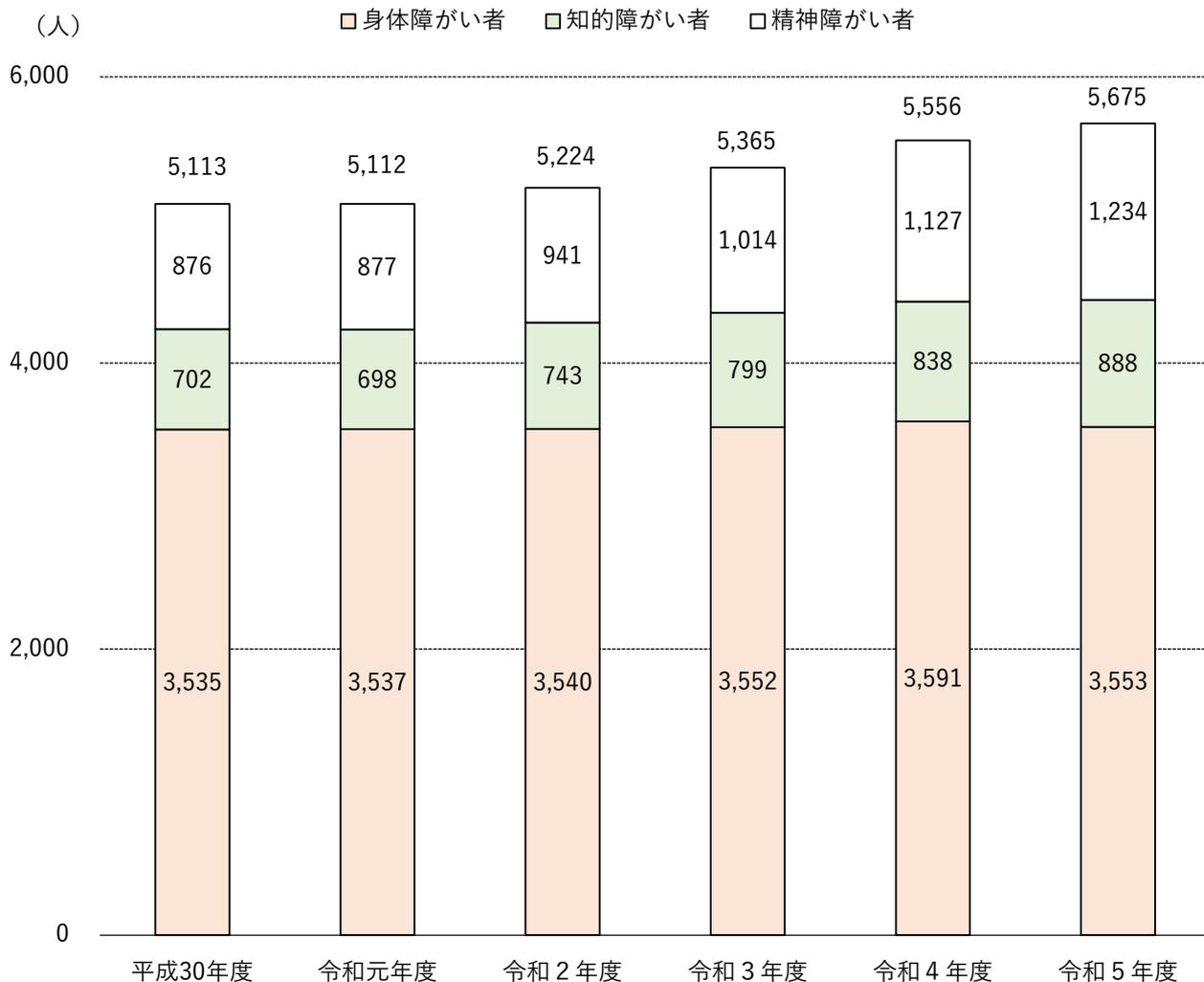


資料：住民基本台帳（各年度10月1日現在）

## 7. 障がい者の状況

本市の障害者手帳所持者数を見てみると、身体障害者手帳所持者数はおおむね横ばいに推移しています。一方で、療育手帳所持者数と精神障害者保健福祉手帳所持者数は、平成30年度以降どちらも増加傾向にあります（図表13）。

図表13 障害者手帳所持者数の推移

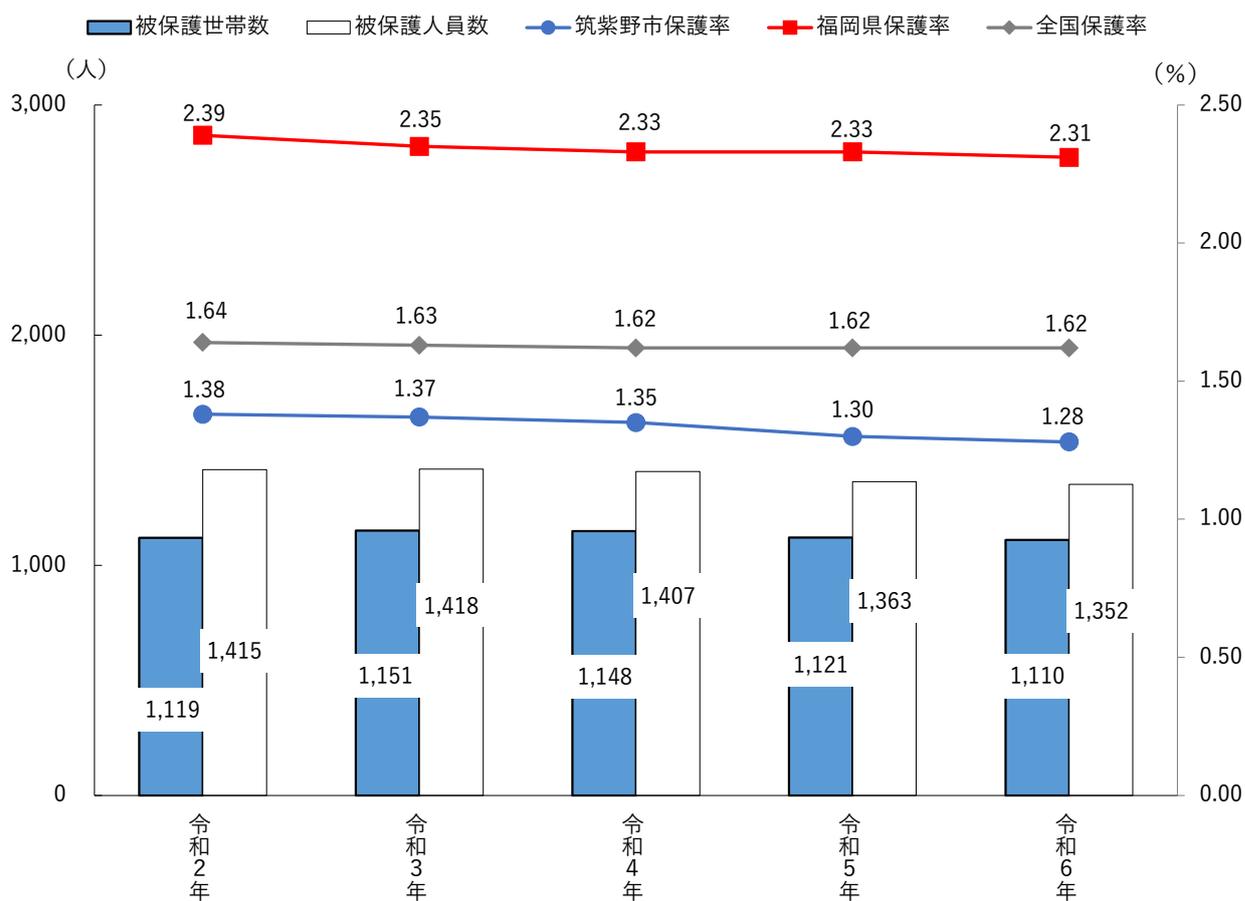


資料：生活福祉課（各年度3月末現在）

## 8. 生活保護

本市の被保護人員数の推移を見ると、令和2年から令和6年の5年間で若干減少し、1,352人となっています。また、保護率は全国や福岡県と比較すると一貫して低く推移しています(図表14)。

図表 14 生活保護の世帯及び人数の推移



資料：福岡県福祉労働部保護・援護課（各年度4月1日現在）